



1 山形市立第四小学校 学校教育目標

徳・体・知が調和し、心身ともに健康で、よりよい
社会や人生を とともに 切り拓いていく子どもを育てる

令和5年度

学 校 名 山形市立第四小学校
校 長 名 村 上 ゆ か り
電 話 番 号 6 2 3 - 6 0 1 9
F A X 番 号 6 3 3 - 9 3 2 1

心の豊かな子ども【徳】	健康でたくましい子ども【体】	意欲的に考える子ども【知】
仲間と協力し合い、支え合いながら、 よりよい生活をつくる子ども	心身の健康を大切にし、ものごとに ねばり強く立ち向かう子ども	問いをもち、基礎的な知識や技能を身につけ、 活用して学び続ける子ども
◇心の豊かさの連鎖 ○「気にかける」…自分事 ○「聴く・寄りそう」…尊重 ○「照らす」…公共性 最善 ○「行動する」…主体性 勇気 ○「立ち止まる」…広い視野 判断力	◇共に生きるよさの連鎖 ○「いのちを守る」…自他の尊重 ○「運動する」…鍛える 整える ○「よく働く」…責任 ○「生活リズムを保つ」…自律 ○「挑む」…向き合う	◇学ぶ喜びの連鎖 ○「試行錯誤する」…更新、強化 ○「表現する」…発信 ○「選択する」…自分らしさ ○「できる、腑に落ちる」…確実な習得 ○「見通す」…計画性 時間の管理

児童・教職員 一人一人が常に大切にされる ～明日も来たくなる学校～

めざす学校の姿（経営方針）

- 学校づくりの中心に研究をすえた学校
・子ども一人一人の学びを大切に、確かな学力を育てる
- 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校
・伝統的な活動に新たな視点を加え、学校のよさを広げる
- 「愛情と信頼」を掲げ、組織的に指導・実践する学校
①安心と安定を生む学校づくりをすすめる
インクルーシブの考え方を根源に持ち、お互いを認めあえる集団づくりを行う。
②安全な環境を作り、危機管理を推進する
- 地域・保護者とともにある学校（コミュニティスクール）
・信頼関係を築きながら、子どもの未来を共に考える

めざす教師の姿

- 子どもの学びを支え、ともに汗し、ともに歩む教師
smile（笑顔）smart（実行力、洞察力）sunshine（包容力）
- 自ら学ぶ喜びを感じ、互いに育ち合う教師
①キャリアステージにそって、自分の課題を把握し、研修等を通して学び続ける。
②共通理解の中で、自分らしさを発揮する（個性、得意）
「礼儀」（感謝と謙虚さ）をつくし、互いに支え合う
③学校教育の不易を流行の中で生かす（挑戦・変革）
- 生徒指導の5つの場を常に意識する教師
- ワーク・ライフバランスを保ち、心身ともに健康な教師
- 山形の未来を創る学校の役割を自覚し、実践する教師

挑 戦

尊 重

洗 練

2 経 営 の 重 点

1. 学校づくりの中心に研究をすえた学校

（研究主題） つながりの中で学ぶ、しなやかな子ども –深い子ども理解を土台にした「教師の待ちと出」を探る– 3年次

- 授業研究を軸に、あらゆる教育活動の中で、学校教育目標具現化に機能する「教職員の関わり方」を探究していく。
「しなやか」…柔軟性、たくましさ、力強さ、ねばり強さ、芯の強さ、視野の広さ、心の幅の広さ、上品さなどを包摂。今育てたい「いちょうの子」の姿としてキーワード化し、授業研究を軸に、あらゆる活動の場での関わり方を「待ちと出」で探究する。
- 指導と評価の一体化を図り、「確かな学力」の定着をめざす。（授業の充実、資質能力を明確にしたカリマネ、家庭や地域との連携等）

2. 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校

- 伝統的な活動を引き継ぎながら、四小らしい活動を変化する社会に合うものに創り上げていく。
①三大行事 いちょうの時間を設定し、時間内での充実した活動を展開する。
②「音楽活動」の充実 市民合同音楽祭・吹奏楽発表会・いちょう音楽会などに向け、全校（学年）音楽昼会を計画的に活用する。
- SDGsの視点を大切にするとともに、ICTを効果的に活用した教育活動を展開する。（グローバルな探究活動、タブレット等の活用）

3. 「愛情と信頼」を掲げ、組織的に指導・実践する学校

- 【安心・安定】いじめのない学校・安定した学校をめざす。
①いちょう児童会を核とした心の育成…インクルーシブの考え方に立ち、「生徒指導」の機能を生かし自治的・自律的活動を指導する。
②クルーズ班活動……自浄作用のある集団づくり、楽しみながら知り合う活動をめざす。（自ら、責任、計画、見通し、最後まで）
③学年部・学年の活動…学年部でリーダーとして育てる。（上学年の姿を見て育つ）
④スピード感のある丁寧な対応…いじめ調査アンケートを実施（6月、11月）し、問題解決、心のケアを素早く丁寧に行う。
⑤子ども支援委員会、子どもを語る会…定期的な開催で子どもの様子を全員で共有し、子ども一人ひとりの居場所をつくる。
- 【安全】最悪を想定し、さまざまな訓練等を行う。もしもの場合には、緊急対応マニュアルに沿って適切に対応する。

4. コミュニティスクールとして、地域・保護者とともにある学校づくりを推進

- 地域・保護者とともにある学校を継承し、学校運営協議会を通して「コミュニティスクール」を確かに豊かにしていく。
- 個別面談や学級懇談会、子育て講演会を教育課程に位置づけ、保護者と共通理解のもと子どもを育てていく。
4月学習参観・奨学会総会 6月オープンスクールデー、7月個別面談 10月通知表配付（一斉）
12月、2月 学習参観・子育て講演会 3月通知表配付（子どもに）
- 情報発信を大切にし、信頼される学校経営をめざす。（学校だより、学年学級だより、HPによるお知らせ、緊急メール）
・奨学会 ・同窓会 ・研学会 ・交対協 ・青少年健全育成 ・体育振興会 ・子育て連 ・民生児童委員 ・学童クラブ 等

5. ワーク・ライフバランスを保ち、心身ともに健康な教師

「学校における働き方改革プラン」の重点を意識して教育活動に当たると共に、校内推進委員会を中心に推進する。